



# KAWAI 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 株式会社河合楽器製作所

上場取引所 東

コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員 (氏名) 河合 健太郎 TEL 053-457-1227

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	64,692	3.3	3,737	△22.8	4,107	△20.5	2,498	△27.7
2022年3月期第3四半期	62,634	33.1	4,839	166.4	5,166	150.1	3,457	426.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,681百万円 (43.5%) 2022年3月期第3四半期 3,958百万円 (592.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	290.70	—
2022年3月期第3四半期	402.31	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	70,841	38,596	54.2
2022年3月期	68,391	33,559	48.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 38,387百万円 2022年3月期 33,384百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	3.8	5,000	△25.3	4,900	△32.9	3,200	△36.6	372.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	9,011,560株	2022年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	416,813株	2022年3月期	416,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	8,594,793株	2022年3月期3Q	8,594,898株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、資源価格高騰や急速な円安による物価上昇のため消費者マインドの悪化、実質購買力の低下が懸念されるものの、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の緩和等もあり、穏やかな回復基調は維持しております。

また世界経済は、ウクライナ危機の長期化、米国の金融引き締め、中国における新型コロナウイルス感染症再拡大による経済活動停滞の影響など不安定な国際情勢により、先行きは不透明となっています。

このような経営環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Resonate 2024」（2023年3月期から2025年3月期）を策定、新型コロナウイルスの影響で大きく変化した事業環境で堅実に成長する為に、「顧客接点の進化」「需要拡大領域の強化」「コスト増への対応」の3つの戦略に重点的に取り組んでおります。

商品政策としては、これまでコンクール・コンサート専用モデルとして展開してきたShigeru Kawai フルコンサートピアノ『SK-EX』の国内販売を昨年10月に開始しました。また需要が拡大する電子ピアノはラインナップを一新し、木製鍵盤や響板スピーカーなどを搭載したハイスペックモデル『CA901』『CA701』、スタンダードモデル『CN301』『CN201』、ポータブルモデル『ES120』をそれぞれ発売いたしました。昨年10月にはミニピアノ（グラランドピアノ）が『楽器店大賞2022』において「話題の楽器部門」で大賞を受賞いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 64,692百万円（前年同期比 2,058百万円増）、為替環境の変化や海上輸送費、材料費の高騰などにより営業利益につきましては 3,737百万円（前年同期比 1,102百万円減益）、経常利益は 4,107百万円（前年同期比 1,059百万円減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 2,498百万円（前年同期比 959百万円減益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、連結子会社の株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、第1四半期連結会計期間から、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。そのため、前年同期比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を当該変更後の数値で比較しております。

#### (楽器教育事業)

楽器教育事業は、『Shigeru Kawai』をはじめとする鍵盤楽器の販売において前期に引き続き世界各地で好調に推移いたしました。また音楽教室や体育教室においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努める中、生徒募集やイベント開催などに取り組みました。これらの結果、売上高は 54,297百万円（前年同期比 2,846百万円増）となり、為替環境の変化や海上輸送費、材料費の高騰などにより営業利益は 2,685百万円（前年同期比 819百万円減益）となりました。

#### (素材加工事業)

素材加工事業は、供給先の生産調整により半導体関連部品や自動車関連部品の受注が減少したことなどもあり、売上高は 8,024百万円（前年同期比 206百万円減）となり、営業利益は 1,016百万円（前年同期比 339百万円減益）となりました。

#### (その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受注減少などにより、売上高は 2,370百万円（前年同期比 581百万円減）となり、営業利益は45百万円（前年同期比 35百万円増益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、為替影響による棚卸資産の増加などにより 70,841百万円（前期末比 2,449百万円増）となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少などにより 32,245百万円（前期末比 2,586百万円減）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の増加及び為替換算調整勘定の増加などにより 38,596百万円（前期末比 5,036百万円増）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました内容から変更はありません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,659	17,760
受取手形及び売掛金	9,485	9,175
商品及び製品	6,483	10,452
仕掛品	1,738	2,040
原材料及び貯蔵品	4,157	6,408
その他	2,068	2,942
貸倒引当金	△157	△199
流動資産合計	46,436	48,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,107	4,301
機械装置及び運搬具(純額)	1,779	1,832
土地	6,354	6,406
その他(純額)	1,090	1,049
有形固定資産合計	13,331	13,589
無形固定資産	636	624
投資その他の資産		
投資有価証券	5,313	5,373
繰延税金資産	1,235	1,170
その他	1,589	1,677
貸倒引当金	△152	△176
投資その他の資産合計	7,986	8,045
固定資産合計	21,955	22,259
資産合計	68,391	70,841
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,717	6,696
短期借入金	5,895	5,307
未払法人税等	1,770	665
賞与引当金	968	488
製品保証引当金	171	199
その他	6,050	5,173
流動負債合計	20,572	18,530
固定負債		
長期借入金	4,396	3,881
環境対策引当金	5	3
株式報酬引当金	—	10
退職給付に係る負債	8,829	8,822
資産除去債務	594	590
その他	432	406
固定負債合計	14,259	13,714
負債合計	34,831	32,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,282
利益剰余金	24,895	26,749
自己株式	△964	△989
株主資本合計	32,311	34,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	434
為替換算調整勘定	876	3,897
退職給付に係る調整累計額	△165	△109
その他の包括利益累計額合計	1,072	4,221
非支配株主持分	174	208
純資産合計	33,559	38,596
負債純資産合計	68,391	70,841

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	62,634	64,692
売上原価	45,424	47,578
売上総利益	17,209	17,113
販売費及び一般管理費	12,369	13,375
営業利益	4,839	3,737
営業外収益		
受取利息	49	58
受取配当金	68	79
固定資産賃貸料	31	37
為替差益	234	266
その他	65	56
営業外収益合計	450	497
営業外費用		
支払利息	60	58
寄付金	27	30
その他	35	38
営業外費用合計	123	128
経常利益	5,166	4,107
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	32	—
特別利益合計	32	0
特別損失		
固定資産除却損	15	24
特別損失合計	15	24
税金等調整前四半期純利益	5,183	4,083
法人税等	1,700	1,574
四半期純利益	3,482	2,509
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,457	2,498

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,482	2,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△520	72
為替換算調整勘定	938	3,061
退職給付に係る調整額	64	56
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△17
その他の包括利益合計	475	3,172
四半期包括利益	3,958	5,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,921	5,647
非支配株主に係る四半期包括利益	36	34



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	51,450	8,231	59,682	2,952	62,634	—	62,634
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	1	1	296	298	△298	—
計	51,451	8,232	59,683	3,248	62,932	△298	62,634
セグメント利益	3,505	1,355	4,861	9	4,871	△31	4,839

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△31百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	54,297	8,024	62,321	2,370	64,692	—	64,692
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2	3	5	97	102	△102	—
計	54,299	8,027	62,327	2,467	64,795	△102	64,692
セグメント利益	2,685	1,016	3,701	45	3,747	△9	3,737

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△53百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社カワイキャスティングにつきまして、事業統括組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の素材加工事業から楽器教育事業に変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、これらの変更を反映し作成したものを開示しております。